日本国憲法	２年　後期 卒必　幼必　保必	講義2単位	担当教員名	井　坂　亨

授業のテーマ及び到達目標

① テーマ：　国民生活と日本国憲法との関係について理解する。

② 目標　・　近代憲法の原則や日本国憲法の制定までの歴史と基本理念を理解する。（１）

・　立法・行政・司法のそれぞれの役割と働きについて理解する。（１）

・　基本的人権の尊重，特に子どもの人権について理解する。（３）

・　日本国憲法と保育との関わりや国民生活との関係などについて理解を深める。（１・３）

授業の概要

授業全般を通し、日常生活で、ともすれば疎遠になりがちな憲法について、身のまわりの事例をとりあげながら、憲法が日々の 生活に深く関わっていることを再認識させ、憲法についての関心や態度を深めていきたい。憲法の基本的な用語と概念を理解させるとともに、日本国憲法の三大原則や三権分立等について、新聞等の記事や条文に照らし合わせながら理解させる。変化する世界の状況を踏まえながら、様々な憲法解釈にふれ、日本国憲法の今後についての論議に関心を深める。また，保育（子どもの人権）と日本国憲法がどのように関わっているのかを考察する。

授業計画

コマ(回)	項　目	内　容
1	イントロダクション	憲法に関する基本的知識と生活の中に生きる憲法について
2	保育と憲法の関わり	保育実践は憲法実践だった（熱田福祉会けやきの木保育園園長）
3	近代憲法の原則	権力の分立　　大日本国憲法との比較
4	日本国憲法の成立と考え方	日本国憲法制定の経過と日本国憲法の基本原理
5	日本国憲法の概観	前文と基本理念　　平和主義　　国民主権　　基本的人権の尊重
6		第１章　象徴天皇制　　天皇の国事行為等
7		第２章　戦争放棄（第９条の解釈）　　平和主義について
8		第３章　国民の権利及び義務　　基本的人権の保障　　最高法規
9		第３章　国民の権利及び義務　　基本的人権の体系　　日本国民の義務の
10		子どもの人権（児童福祉法，児童の権利に関する条約，児童憲章）
11		子どもの人権（児童福祉法，児童の権利に関する条約，児童憲章）
12		第４章　国会（立法権）　国会の地位と性格，仕事，衆議院解散権等
13		第５章　内閣（行政権）　内閣の地位と性格，仕事，議員内閣制等
14		第６章　司法（司法権）　裁判所の種類，役割，三審制，三権分立等
15	憲法と国民の生活	憲法の今後　　講義の総括　　保育と憲法とのかかわり
定期試験	１５コマ終了後に実施する。	
テキスト	日本国憲法（小学館）　　自作資料：日本国憲法資料集（保育に関わりのある法・規定等）	
参考図書	日本国憲法を口語訳してみたら　塚田薫　長峯信彦（幻冬舎）　保育と日本国憲法　橋本勇人（みらい）	
教員の評価方法	授業態度（20%）、レポート・提出物状況（20%）、定期試験（60%）の総合で評価	
①準備学習等履修上の留意点 ②課題に対するフィードバックの方法	①テキストの学習予定箇所を繰り返し読み憲法の条文の内容について考えてくる（１時間） ①憲法に関係するニュースや新聞記事に興味を持ちまとめておく(1時間) ②毎時間、前時（前時まで）の口頭復習を行うため、学習プリント等での復習をしておく。（１時間） ②学習内容のまとめ等，クループ討論をしたり課題レポートを提出したりする。	

英語	1年　前期　後期 卒必　幼必　保必	演習2単位	担当教員名	秋　山　尚　義

授業のテーマ及び到達目標

① テーマ：　身近な題材を英語で学び、言語や文化、人間社会に対する理解を深め、多面的な知識を身に付け、英語の魅力を発見する。

② 目標　・多文化世界への興味・関心を高め、言語や文化等について考える。（1）
・主体的・対話的な活動を通し多様な見方、考え方、表現力を養う。（1，8）
・主体的な課題解決を通し英文を読み取ることの面白さを味わい、読解力を高める。（1，6）

授業の概要

・「言語」「文化」「人口」などのテーマを取り上げ、グローバル時代における「世界市民」の意味を考える。
また、日本の民話を英語で読む活動を通し、英語への興味・関心を高める。
・グループ活動で思考や活動をより豊かにし、深い学びを通した内容の理解と知識の定着を図る。
・「分かったこと」「分からなかったこと」など、ひとりひとりが自分の課題を明確にもって授業に臨むことを重視する。

授業計画

コマ(回)	項　目	内　容
1	・オリエンテーション	目標・評価等　英語の基本語順は身についていますか。
2 3 4 5	・Olympic Spirit!	私たちにとってオリンピックはどんな意味があるのかを考える。 ※基本語順の習熟と英文の意味を理解する。 内容の理解確認と定着　～True or False　Summary (英語の歌)
6 7 8 9	・Is This Seat Taken?	言語学習に不可欠な実践法について考える。 ※基本語順の習熟と英文相互の関連を考えながら内容を理解する。 内容の理解確認と定着　～True or False　Summary (英語の歌)
10 11 12 13 14 15	・Why the Red Elf Cried	日本の民話の面白さを英語を通して味わう。 「赤鬼はなぜ泣くことになったのか」を課題を中心に読み取り考えをまとめる。 ※グループ主体の演習的な活動① ※レポート作成の課題①
16 17 18 19 20	・World Citizenship	世界市民として地球上で共生していく方法について考える。 内容の理解確認と定着　～True or False　Summary (英語の歌)
21 22 23 24 25 26	・ Sandal Seller	日本の民話の面白さを英語を通して味わう。 「わらじ売りに魔法の炭を与えたのはなぜなのか」を課題を中心に読み取り考えをまとめる。 ※グループ主体の演習的な活動② ※レポート作成の課題②
27 28 29 30	・A Crowded Planet!	人口問題がもたらす問題とその解決策をさぐる。 内容の理解確認と定着　～True or False　Summary (英語の歌)
定期試験	定期試験を実施する。	
テキスト	Off to the World　(金星堂)	
参考図書	えいごで読む日本むかし話 2　(チャールズ・イー・タトル出版)	
教員の評価方法	授業態度（10%）、発表・レポート（20%）、定期試験（70%）の総合で評価	
①準備学習等履修上の留意点 ②課題に対するフィードバックの方法等	①予習（1時間、語句や英文の意味調べ、課題への取り組み）は不可欠、英和辞典は必携。 ②各単元およびプレゼンテーション後に、指導者による講評・助言を行う。	

保健体育（実技）	１年　前期　後期 卒必　幼必　保必	実技１単位	担当教員名	長　沼　　信　子

授業のテーマ及び到達目標

① テーマ：運動することの爽快感を味わい，日常化の大切さを理解すると共に生涯体育について考える。

② 目標　・運動への積極的な取り組みやグループ活動を通して，運動への関心を高まると共に社会性を養う。

　　・幼児教育の理解を深める補助的な役割を果たす。（１，２）　　（３，４，５）

授業の概要

保育科で学ぶ学生にとっては社会で出る前に経験する学校体育の最後の機会である。運動に積極的に取り組ませ，運動の楽しさを味わい，運動が心身に与える働きの大切さを再確認する機会としたい。また，グループ活動やリーダーとしての体験を通して，保育者として活動する場合の心構え等について考えさせる。

授業計画

コマ(回)	項　　目	内　　容
1	・オリエンテーション	目標　実施種目　評価方法　集団行動　補強運動等
2	集団行動	集団行動　体力づくり（補強運動・幼児体育　等）
3	体力づくり　リズムダンス	いろいろなダンス　ＭＡＰの動きから
4	ダンス　発表会	評価の仕方
5	バレーボール	班編成
6		基本技能　（パス　レシーブ　サーブ　スパイク　等）
7		
8		ルールを工夫しての簡易ゲーム　審判の仕方
9		
10	テニス	班編成
11		基本技能　（フォア　バック　サーブ　等）
12		ルールを工夫しての簡易ゲーム　審判の仕方
13		
14		（＊ニュースポーツを含む）
15	卓球・バドミントン	班編成
16		基本技能
17		ルールを工夫しての簡易ゲーム　審判の仕方
18	バスケットボール	班編成
19		基本技能（ドリブル，パス，シュート，攻防　等）
20		ルールを工夫しての簡易ゲーム　審判の仕方
21		
22		
定期試験	なし	
テキスト	なし	
参考図書	なし	
教員の評価方法	実技発表（７０％），学習意欲・態度（３０％）を総合して評価	
①準備　履修上の留意点 ②課題に対するフィードバックの方法	①日々の健康管理にも注意し，できる限り体を動かす等、実技の準備をする（１時間） ②各時間ごとに「振り返りカード」でフィードバックを行い，担当からのメッセージを加え次の活動に生かす。	

保健体育（実技）	１年　　前期　　後期	実技１単位	担当教員名	長 沼　信 子
	卒必　　幼必　　保必			

授業のテーマ及び到達目標

① テーマ：健康の維持増進が健康的な生活習慣の確立にかかっていることを理解する。

② 目標　・健康と食事・睡眠・運動の関連につい学び，自分の生活に生かそうとする。（１・２）

授業の概要

生活習慣病や心の病気に罹っている人が急増している現代である。健康を維持するのが難しい過酷な環境であるといわれているが，そんな中で健康を維持増進するにはいかに健康的な生活習慣を確立するかにかかっている。健康の基本を「食事・睡眠・運動」に焦点を当ててt学び，また、喫煙や笑顔と健康の関連についても着目させ，さらに体のしくみや応急手当についての基本を含め，毎日繰り返されている生活習慣を見直し前向きに取り組もうとする意識を高めたい。

授業計画

コマ(回)	項　　目	内　　容
1	オリエンテーション　健康とは	講義の目標・評価について　　健康の定義
2	健康と運動	体力について　適切な運動量を知る　ルーの法則について
3	健康と睡眠	休養について　疲労　睡眠が健康に与える影響
4	健康と食事	食事の意味　バランスの取れた食事　基礎代謝
5	健康と喫煙	健康と喫煙　たばこの害
6	体のしくみ	骨格　筋肉　循環器　内臓　神経　等
7	応急手当	救急車の呼び方　腹痛・頭痛　吐き気　嘔吐物の始末　等
8	子どもの安全	子どもの事故予防等，健康維持増進のための留意点
定期試験	なし	
テキスト	なし	
参考図書	家庭の医学（小学館）	
教員の評価方法	課題・レポート内容・小テスト等（７０％）・学習態度（３０％）を総合して評価	
①準備　履修上の留意点 ②課題に対するフィードバックの方法	①日々の「食事・睡眠・運動」等を意識し各テーマについて備える。講義後は内容を踏まえ自分自身の生活を振り返る（１時間） ②２時間分のレポートを提出することで授業のフィードバックをさせ，自分自身のこととして諸問題をとらえ今後の生活に生かす。	

国語学	1年　前期 卒必　幼必　保必	講義2単位	担当教員名	櫻　井　正　昭

授業のテーマ及び到達目標

① ﾃｰﾏ　：　私たちの身近にある国語について、組織だった知識を得る。

② 目標　・国語の構造を四つの部門（音韻・語彙・文法・文字）に分けて考える。(1、3、4、5)

・国語の基本的事項を再認識することで国語学のアウトラインを修得し、日本語の持つ歴史的重みを理解する。(1)

授業の概要

言葉を正しく豊かに使うことができれば、人はより文化的で心豊かな生活をおくることができるであろう。言葉は単なるコミュニケーションの手段であるばかりではなく、知的活動を促し、感情や情緒を深める機能を有する。普段、私たちは一つ一つの言葉について深く意識することなく使っているが、豊かな言語生活を送るために言葉の働きを構造的にとらえることは大切な「学び」のひとつである。

本授業では私たちの母国語である日本語の歴史や構造的な特徴および意味・用法等について、講義を中心としながらワークショップ型の学習や演習等の活動を取り入れて言葉の「学び」を深めていく。

授業計画

コマ(回)	項　　目	内　　容
1	国語学とは	イントロダクション　（目的・方法・評価）
2	総　論	言葉　国語と日本語　母語　国語の構造
3	音　声　・　音　韻　①	音声の最小単位（音節と単音）五十音図（日本語の音節一覧表）
4	音　声　・　音　韻　②	音声記号　日本語の音節　アクセント　イントネーション
5	文　字　・　表　記　①	文字とその使い方　漢字のはなし（漢字の構成　呉音・漢音・唐音）
6	文　字　・　表　記　②	漢字から仮名へ　ローマ字の伝来と綴り方の種類
7	文　字　・　表　記　③	補助符号　仮名遣いの種類・送り仮名
8	意　味　・　語　彙　①	意味・単語・語義（同音異義語　接尾語　擬態・擬音語）
9	意　味　・　語　彙　②	語彙の諸相・語彙の量　語形　敬語法（丁寧語・尊敬語・謙譲語）
10	意　味　・　語　彙　③	語彙の量　敬語法（丁寧語・尊敬語・謙譲語）
11	意　味　・　語　彙　④	語種　外来語　位相
12	文　法　・　文　章　①	文法と文法論　文法研究の単位　構文論
13	文　法　・　文　章　②	文章論　文章の展開と構造
14	文　法　・　文　章　③	文体と文体論　文体の種類と文体史
15	方　言　・　言語生活	方言と方言研究　方言区画　日本語の系統　言語生活・言語生活史

定期試験	１５コマ終了後に筆記試験を実施する。
テキスト	教師自作のテキスト・ワークシートを用いる。
参考図書	宇野義方編『国語学』学術図書出版社・福島邦道『国語学要論』笠間書院
教員の評価方法	学習への意欲･関心･態度(20%)、課題の提出状況と内容(20%)、定期試験(60%)等により総合的に評価する。
①準備学習等履修上の留意点 ②課題に対するフィードバックの方法等	①予習課題の提示　①授業後にテーマに即したレポートの作成（４～５回程度　各1時間） ②提出後、次授業時においてテーマに関する解説等をし更に理解を深める。

社会学	1年　　前期 卒選必　幼選必　保選必	講義2単位	担当教員名	井　坂　　亨

授業のテーマ及び到達目標

① テーマ： 社会学視点を応用し，思考力，コミュニケーショ能力，表現力を身に付ける。

② 目標　・社会学の基礎について理解する。（1）

・現代社会の様々な事象や問題等について，その背景や内容を多面的に考察する。（1）

・社会と人との関係，社会での人と人との関係，社会の仕組みなどについて考察する。（1・8）

・グループディスカッション等を通して，広い視野から社会や物事を考える柔軟な思考力を身に付ける。（1・8）

授業の概要

私たちの頭は案外固くて，普段物事を見る時，一面的な見方しかできないことが多い。私たちが社会生活を営む上で，「当たり前」と感じている社会的通念や制度は，本当に「当たり前」なのだろうか。現代社会で起きている事象や問題，課題等をグループディスカッションを柱とした活動を通して，様々な角度から多面的に考察し，多様で柔軟な視点や思考の形成をめざす。身の回りに起きている身近な問題やニュース等をテーマに自由に討論し合い保育者に求められているコミュニケーション能力を高め合う。

授業計画

コマ(回)	項　　目	内　　容
1	イントロダクション。	社会学とは。社会学で学ぶこと。授業(ディスカッション）の進め方。
2	脱常識。	常識を覆す。一般常識のありすぎる学生。
3	コンビニ深夜営業規制，是か非か。	図式化して整理する。（結論は出さない）
4	携帯電話のアンテナ設置に税金投入？	多角的に考える。賛否を考える。（グループで結論を出す）
5	「若者言葉」を考える。	言葉と社会を考える①。賛否を考える。（結論は出さない）
6	本当の自分とは?	性格診断による自分と見られている自分について考える。（結論は出さない。）
7	悪夢。	意図せざる結果。多面的に考える。（グループで結論を出す）
8	貧困って何だ？	概念をとらえ直す。概念の再検討。（最後に個人で結論を出す）
9	家族って何？	「サザエさん」と「ちびまる子」ちゃん。恋愛と結婚はどう違うのか。
10	累進課税を考える。	税金のありかたを考える。解決策を考える。（グループで結論を出す）
11	環境問題を考える。	人間の主体的行為。解決策を考える。（グループで結論を出す）
12	少子化についてどう思う。	なぜ少子化なのか。高齢者社会との関係は。（グループで結論を出す）
13	歴史的建造物を保存すべき？	環境保全と公共性。解決策を考える。（グループで結論を出す）
14	どれがよいまちづくり？	コミュニティを考える。ランキング。（グループで結論を出す）
15	大学の未来プランを作ろう。	アイディア発想とコミュニティ・プラン。解決策を考える。（グループで結論を出す）
定期試験	小論文（自己変容等に係る）形式の筆記試験を行う。	
テキスト	なし（新聞記事，その他各種資料等を活用）	
参考図書	新体感する社会学　金菱清著(新曜社)　図解社会学のことが面白いほどわかる本　浅野智彦著(中経出版)	
教員の評価方法	授業態度(１５％),ディスカッション(５０％),定期試験(３５％)	
①準備学習等履修上の留意点②課題に対するフィードバックの方法等	①授業の始めはアイスブレイクを行うため、日常の様々な出来事に興味関心をもち記録する。（1時間） ①新聞記事やニュース等から教育・保育に関する問題の社会事象に興味関心をもち記録する。（1時間） ②授業の課題「テーマ」に関するディスカッション等の自己評価を振り返りシートに記入する。	

生物学	１年　　前期 卒選必　幼選必　保選必	講義２単位	担当教員名	髙　　橋　　和　　吉

授業のテーマ及び到達目標（学習成果）

① テーマ：自然(動植物)と接することの大切さを知り、子ども達に豊かな体験遊びをさせる力を身につける

② 目標　・生物学の意義及び豊かな自然の大切さについて理解する（3）

・環境による動植物の種類や生育状況等の違いを理解する（3・4）

・自然に親しみ、草木遊び等の体験遊びを身につける（3・4・5）

授業の概要

人間･他の生物と環境との様々な係わり合いを、身近に見られる動植物の採集･観察等を通して理解が深まるようにしたい。生物学の受講者である本学の保育科の学生は、幼稚園の教諭または保育所の保育士を志して入学してきている。したがって、生物とその生態などを広く探究すると共に、幼稚園･保育所等の教育現場の自然環境や動植物、生命等にも触れることで子ども達の指導に生かすことができるよう、指導展開を図りたい。

授業計画

コマ(回)	項　　目	内　　容
1	生物学について	・生物学とは･生物学の重要性と今日的課題･講義の展望
2	生態系について	･生態系の中での物質循環･生物の多様性と物質循環
3	生物観察の方法	･動植物の観察の仕方・ハコベなどの観察をしながら観察の視点をとらえる
4	大学校地の生き物①	・校地に見られる植物の植生調査と観察
5	荒雄公園の生き物①	・公園に見られる植物の植生調査と観察(継続観察)
6	水路の生き物①	・水路に見られる生き物調査と観察(継続観察)
7	草木遊び①	・草木遊びの意義と遊びの種類・シロツメクサなどで遊ぶものをつくる
8	押し葉標本作り①	･押し葉標本の意義と押し葉標本の作り方・押し葉標本をつくる
9	大学校地の生き物②	・校地に見られる生き物調査と観察
10	荒雄公園の生き物②	・公園に見られる植物の植生調査と観察(継続観察)
11	水路の生き物②	・水路に見られる生き物調査と観察(継続観察)
12	草木遊び②	・クズ、ギシギシなどの葉を利用しての音出し遊びをする
13	押し葉標本作り②	・押し葉標本でしおりを作る(ラミネートを使用)
14	移り変わる自然	･自然界での生態遷移･人為的場所での遷移･温暖化
15	学習のまとめ	・これまでに学習してきた内容の確認とまとめ

定期試験	15コマ終了後に筆記試験を実施する。
テキスト	自作資料等を使用するためテキストは使用しない。
参考図書	使用しない。
教員の評価方法	観察記録や作品等の提出物(10%)･学習への取り組み態度(20%)･テスト(70%)を総合的に判断
①準備学習等履修上の留意点 ②課題に対するフィードバックの方法等	①準備物は忘れずに持ってくること　学習の準備・事前学習（１時間） ②課題提出後は、必ず返却し解説を行う。

音楽	1年　前期 卒必　幼必　保必	講義2単位	担当教員名	古　溝　　徹

授業のテーマ及び到達目標（学習成果）

① テーマ：楽典の基礎知識を学ぶ

② 目標　・楽譜を読めるようにする。（1・3・4）

・コードの基礎的な知識を習得する。（1・3・4・5）

授業の概要

子供の発達に音楽が果たす役割は非常に大きくまた重要で、保育園、幼稚園において音楽は生活の一部として取り入れられている。保育士、幼稚園教諭を目指す者にとって、音楽の知識と技能の習得は不可欠である。ここでは「楽譜を読めるようにすることを目的に、楽典の基礎を学ぶとともに、コードについての知識を学び、ピアノの演奏に活かせるようにする。

授業計画

コマ(回)	項　　目	内　　容
1	ガイダンス	これからの講義について
2	楽典の基礎	五線、ト音記号、ヘ音記号
3	楽典の基礎	シャープ、フラット、ナチュラル記号
4	楽典の基礎	音符と休符の種類Ⅰ
5	楽典の基礎	音符と休符の種類Ⅱ
6	楽典の基礎	省略記号、反復記号
7	楽典の基礎	拍子についてⅠ
8	楽典の基礎	拍子についてⅡ
9	楽典の基礎	楽語について
10	コードについて	コードの基礎Ⅰ
11	コードについて	コードの基礎Ⅱ
12	コードについて	コードの基礎Ⅲ
13	リズム実習	手、足、等によるリズム打ち
14	視唱	ごく簡単な楽譜を使っての視唱
15	打楽器実習	様々な打楽器の扱い方及び奏法
定期試験	１５コマ終了後に試験を実施する。	
テキスト	「おとなのための楽典」　楽典ワーク	
参考図書	特になし	
教員の評価方法	学習態度(20%)、定期試験(80%)の総合で判断	
①準備学習等履修上の留意点 ②課題に対するフィードバックの方法等	①次回の予習とその日の復習（１時間） ②試験実施後に、正解を示し解説を行う。	